

採血針ホルダー付 (フラッシュバックタイプ)

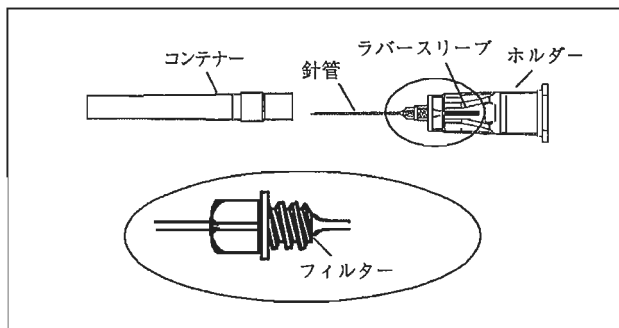
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止。
- 未滅菌の真空採血管と組合わせて使用しないこと。
- 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。
[駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- ホルダーは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。
[ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

本品は一本の両刀針(針管)とプラスチック製針基、ラバースリーブ、フィルター及び針を収納するコンテナとホルダーよりなる(マルチ針タイプ)。なお、本品はエチレンオキサイドガス滅菌済みである。



【使用目的、効能又は効果】

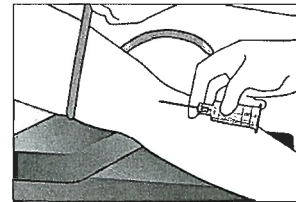
本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。
本品は真空採血管10本に連続して穿刺し、13kPaの圧力を1分間かけたとき、血液汚染につながるような連続的な血液漏れがないものである。

【操作方法又は使用方法等】

1. 包装を開封して下さい。
2. 駆血帯をかけた後に、皮膚の消毒等をして下さい。
3. ホルダーを持ち、まっすぐ引くようにして採血針のコンテナを外し、血管へ穿刺して下さい。
〈注意〉コンテナを外すときは、針先に当たらないように注意すること。当たってしまった場合には針先が変形する可能性がある。
* 〈注意〉穿刺時には、刃面を確認の上、血管を突き破らないように慎重に行うこと。
4. 採血針を血管に穿刺したら、採血管をホルダーにまっすぐ完全に押し込んで下さい。
〈注意〉必ず滅菌済み真空採血管を使用すること。
5. 規定量の血液が採れるまで状態を保って下さい。
6. 採血の血流が停止したら、直ちに採血管をホルダーから外して下さい。

7. 連続採血する場合には、ホルダーを固定したまま採血管を取り替えて下さい。
8. 採血終了後、採血管をホルダーから抜去した後に駆血帯を外して下さい。(図1)

(図1)



- *9. 採血が終わったら、注意して抜き、止血して下さい。
10. 使用後のホルダーは感染防止に注意し、そのまま廃棄して下さい。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 外観が変形したものは使用しないこと。
- 採血針とホルダーの嵌合にゆるみがないことを確認後、使用すること。
- 他の医療機器に接続して使用する場合、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用すること。
- 使用後は、感染防止に留意し、採血針を外すことなく安全な方法で処分すること。
- ガー、包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- * ○採血針から血液漏れが生じた際は、採血針を抜き、本品を新しいものと交換すること。
[針先がラバースリーブの側面部を貫通することで、ラバースリーブが正常に戻らず、血液漏れが生じる可能性がある。]

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿をさけて保管すること。
2. 有効期間・使用の期限
内箱の使用期限欄を参照のこと(自己認証による)。

【包装】

50個/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売(お問い合わせ先)

ニプロ株式会社

大阪府北区本庄西3丁目9番3号

電話番号: 06-6372-2331(代表)

製造

ニプロ医工株式会社



ニプロ株式会社